

第七十七回毎日書道展覧会受賞者作品

毎日賞受賞者のコメント

この度は毎日賞をいただき言葉に尽くせないほどの喜びでいっぱいです。日頃から熱心にご指導くださる中村雲龍先生はじめ支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今後ますます筆と心を磨き高みを目指して精進して参ります。 富塚 紅華

この度は毎日賞を賜り大変光栄に存じます。中村雲龍会長をはじめ諸先生方、支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。この感謝を忘れることなく、初心に立ち返りながらこれからも一步一步精進を重ねてまいります。 蜂谷 曙香

この度は栄えある賞を頂き、大変光栄に存じます。御指導下さっている三宅相舟先生、矢島虹周先生、共に励んでいる教室の仲間そして切磋琢磨の場を御提供下さっている日本書道院に感謝申し上げます。より一層、書との対話を深めて参ります。

上原 虹輝

この度は、毎日賞を賜り大変驚くとともに、心より感謝申し上げます。日本書道院の皆様、並びに日頃からご指導頂いている成田寿苑先生に深く御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。 松本 松亭

この度は毎日賞を頂きありがとうございます。中村雲龍先生をはじめ師である神作花紅先生のご指導のおかげと心より深く感謝しておりますこの受賞を機に又あらたな気持で頑張り学び、良き作品を書けるよう精進します。皆様ありがとうございます。

佐々木花抄

受賞者の皆さまへ

神作 花紅 理事

第77回毎日書道展でのご受賞おめでとうございます。初めての受賞の方、今回の受賞を以て会員昇格となられる方など立場の相違はあっても、この感動はこれからの人生で忘れられない記憶となることでしょう。日本書道院という組織の力、直接ご指導を受けている先生やそのお仲間、ご家族など多くの方の支えがあつてなのだということを念頭に置いて、本当に有難いことと心に刻んで下さい。そして今回の受賞の誇らしさと少しの自信を心の内に持つてご精進されます様に。

駒崎 流芳 理事

第77回毎日書道展ご入賞まことにおめでとうございます。審査対象者、一般公募、会友、会友公募、U23を含めました総出品点数二万二千十八点の中から毎日賞5点秀作賞18点U新鋭賞1点奨励賞2点計34点の入賞です。およそ15人中一人の割合の受賞で、大変な激戦の中から勝ち抜かれてのご受賞です。大きな誇りと感じてください。これも数多くの出品者の後押しのお蔭であることを忘れないで下さい。師匠にはもちろんのこと、支えてくれるお仲間がいることを忘れずに今まで書道が続けてきたことに感謝をし、今後の書道活動にご精進され益々の発展を期待しております。

新井 文香 理事

第77回毎日書道展に於いてご受賞された皆様、誠におめでとうございます。入選する事が嬉しかった時を経て、入賞できた喜びは一人の事と存じます。受賞は大きな励みになります。「また頑張ろう」という力になります。日頃温かくご指導して下さる先生、いつも応援して下さい下さるお仲間の皆様に深く感謝し、共に喜び合い切磋琢磨しながら、更なる高みを目指して精進して参りましょう。二〇二七年の78回展では更にバージョンアップした作品が沢山出品され、入選・入賞数も増えたら凄く良い事尽くし、そんな笑顔溢れる次回展になりますようご祈念致した居ります。

河野 鳳舟 常任参与

第77回毎日展ご受賞誠にありがとうございます。受賞した人は次の年一二〇%の力を出し、又次の年は一二〇%の力を出すそうです。賞を重ねて「書道」という枠を超えた表現者となられます様にとお祈りいたします。

細刈 柳青 理事

第77回毎日書道展での入賞・入選された皆様大変おめでとうございます。今年から審査の方法が大幅に変わりました。5月20日から24日迄未表装にて鑑別から毎日賞等の入賞審査まで一気に行われました。未表装のままでの入賞審査でしたので、昨年迄の額装のものと違い、墨の発色、潤渇の表現等に工夫が必要と感じました。日本書道院の詩文書を主張し日頃の研鑽の成果が発揮されることを祈ります。今回展での公募出品点数は一二二点でした。入選は50%、入賞は5点でした。毎日賞、秀作、佳作の入賞は出品者全員の支えがある事を忘れないで下さい。楽しく書を書けましょう。

每日賞

富塚 紅華

萬寧道次
江蘇省城
朝霞時雨
濕氣既生
寒暑色侵
衣柳潮痕
上
井柳題詩
招茂亭思
蕭龍亭官
印

每日賞

蜂谷
曙香

日照香炉生紫烟，遥看瀑布挂长川。
飞流直下三千尺，疑是银河落九天。

每日賞

上原虹輝

多分、東洋美術の発展に
 寄与するものがある
 日本美術の発展に
 寄与するものがある

每日賞

牛乳部
 牛乳部

松本 松亭

每日賞

あか橋が暖かい
郵便局が暖かい
いつも暖かい
黒御門が暖かい
赤い椿が暖かい
郵便さんが暖かい
二つ目の朝が暖かい
あか橋は代わった
黒御門も代わった
へまの向うあか橋
郵便局も代わった

金子みすゞ詩 花抄 八

佐々木花抄

漢文皇帝有烏鵲鳥自北信曙色東之
晉靈山之水向二陵風雨自東來南之
年惟能度河上底病之憂固且難近
尋我厚幸陶然一醉樂也

前尋任壯野至一畝界。臣陋崎嶇新昂。
好得觀瞻富。時遂窮。雖陸項立動。
然思所製擁掩難堪。有巨壑與虎蛇。速骨。
則之。遂。難。造。物。之。角。讓。昔。捐。張。龍。能。折。斬。雷。電。任。所。振。新。經。河。吳。所。書。

生平好靜日中開心目
 長策不如退處林泉
 照彈琴書窮通理
 庚子年

路自中峰上
船面出前羅刹江
吳越市
隔岸越山多
古木叢生雷
響遙天
浸白波
下方城郭近
鐘磬聲
鐘磬聲

[illegible]

自然は休
三月は春の便り
薔薇の香
はあけ
詩のうら
まゝに
練習曲
作曲は
三月は春
草は白
そよ風
千代子
吉田

初念醉臥。夢中獨醉。夢中一童酒
已半之。醉解。少嫌於太。少且喜。顏易。於。不
復。有。益。多。不。遠。三。四。便。心。中。適。來。這。子
不。事。更。後。強。入。林。陽。如。遺。意。不。息。

朝の光
いふふ
毎
あ
文

— 16 —

新井 美穂

節重福來三朝出白也東進路經年
分雲潮每日回象如佛酒醉人分友
江橋永憶門書柳宗居年自歲

和泉
澄江

推舟向東，子細總皆在內，不
覺費分毫愛，封便宜護印，解
成好夥，即只此非如推

今井 翔雲

北窗睡足上烏榜。呼兒烹茶。醒睡西
施吳越。曉來舞。新涼未半。玉冰初倒
甘香。銀箭金盞漏。如多如少。秋
月墜江波。東流漸。高寒索索。烟水
孤舟。

小暮 尚園

玉滢 舟裏新詩寫意佳
昨爲三月月如扇
窗後風雲落筆輕
半隨芳點要何處
蟠蛸戶已屏音色深
成積他兒白干休
關平中二曲海峽搖一
片

小西 良静

雲行鳥道入雲中
 數仞百有二
 峰巖穴
 一丈生
 對山曾迎
 來月
 鐘陵
 陳良叔
 病去月
 癸巳年
 月
 日

佳作受賞作品

池慶舟

The image displays five panels of a Japanese calligraphy scroll, likely a sutra. The text is written in vertical columns, characteristic of traditional East Asian calligraphy. The panels show different styles and characters, including what appears to be the title 'Sutra of the Lotus Flower in the Palace' (Lotus Sutra) and other religious or philosophical text. The calligraphy is executed in black ink on a light-colored background, with varying line thicknesses and spacing, indicating different levels of emphasis and rhythm in the writing.

小林 充子

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

須永廣翠

是夜四更，乘危掩關，報亭。報石三十六出，
石不更，是功，水鼓聲。一江暢助，淋次皆
修，萬條，曉開，永極，推言，如大音美
兮，是日，建曆，動勢，破紀，日出，草木，聲。庚子年。

長谷川秀麗

釣艇回琴了酒良宵肯以賓風波不驚
星月夜隨身涌迥清而之雲林香
翁榮春謹以此中興年呈漢子友人

平山遊季

山翁何太古日長如年一飯也何可
醉 好鳥不妨眠亦味門者擅付
光陰已便夢中知得句拈毫又忘
空

松永 露聲

千峰行過客若此生涯
煙霞滋味行過新山寺
遠野飯石泉清寂於懷
夜相思磬一聲耳

竹之內溪香

風は浪を捲き去る如く
 新地は其の如く

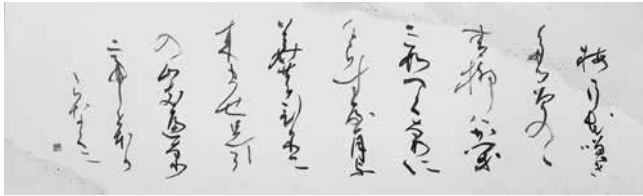
三井 春草

[illegible]



駒林
燈舟

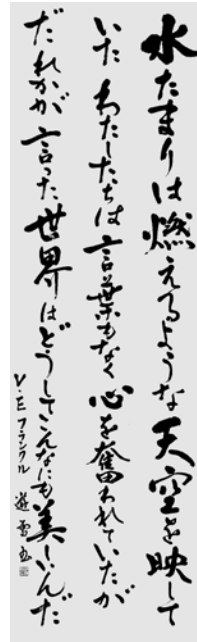
佳作受賞作品



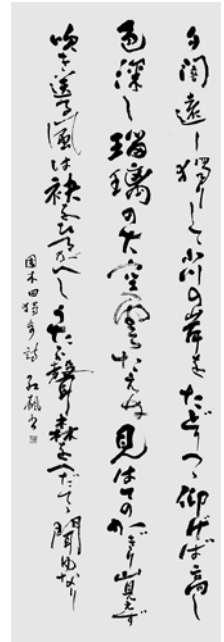
原岡
窓楓



斎藤
真琴

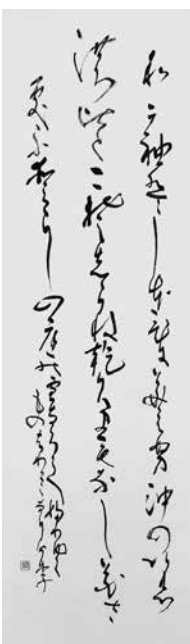


清藤
遊雪



木村
紅楓

U 2 3 奨励賞受賞作品

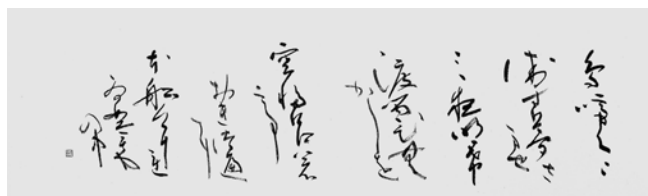


田中
佑実



矢島
理仙

U 2 3 新鋭賞受賞作品



沢
相夏